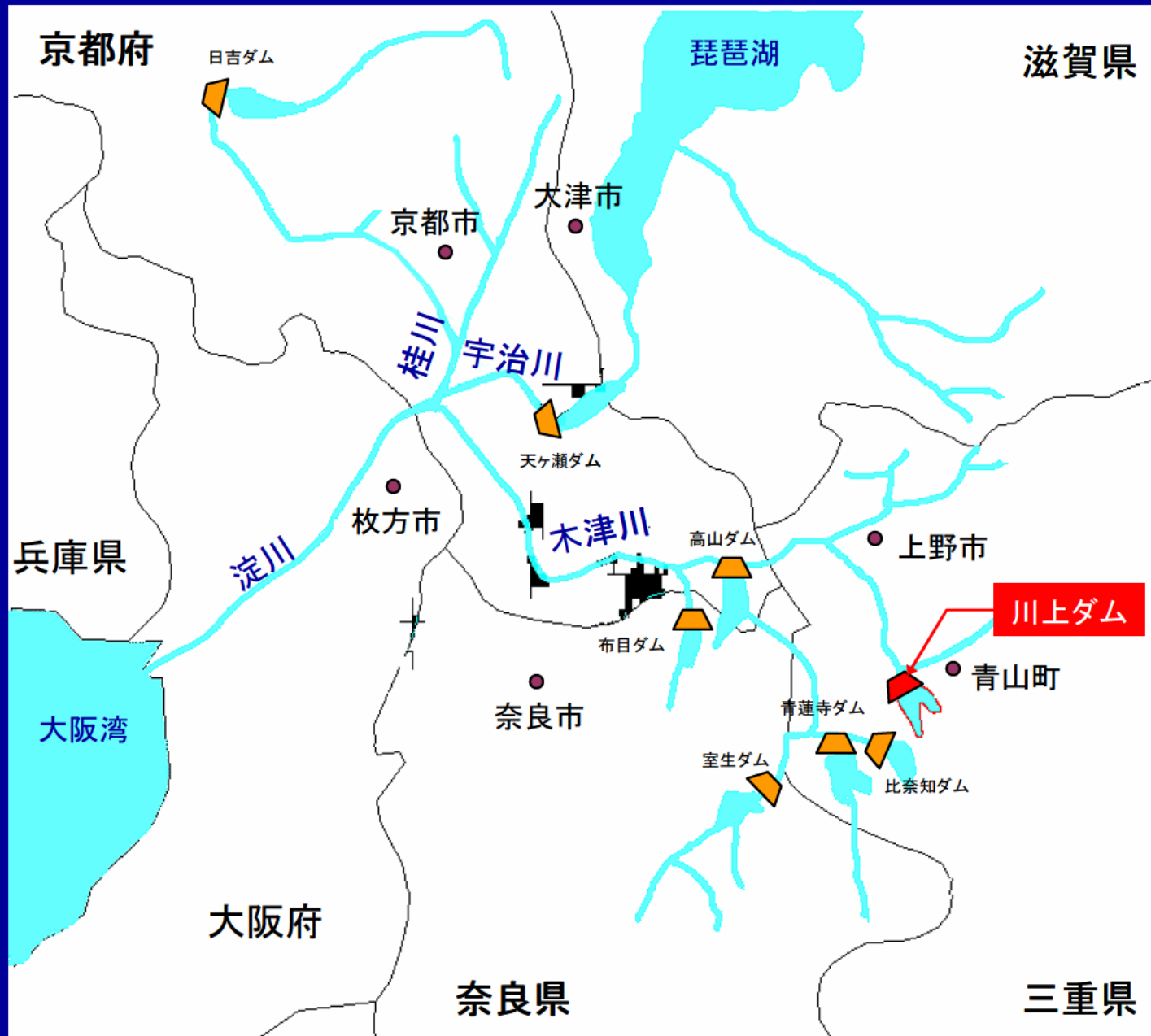


川上ダム建設事業の概要

平成14年4月5日

川上ダム位置図



ダムの目的と諸元

○目的

・洪水調節

ダムサイト地点で、計画高水量 $1,100\text{m}^3/\text{s}$ を $150\text{m}^3/\text{s}$ に低減

・河川環境保全等の流量確保

既得用水の流量確保、動植物の保護等

・上水

三重県: $0.6\text{m}^3/\text{s}$ 、奈良県の諸都市: $0.3\text{m}^3/\text{s}$ 、西宮市: $0.211\text{m}^3/\text{s}$

・発電

三重県が $1,200\text{kw}$ の発電

○諸元

・ダム

重力式コンクリートダム、堤高: 91m 、堤頂長: 375m

・貯水池

集水面積: 54.7km^2 、湛水面積: 1.06km^2 、総貯水量: $3,300\text{万m}^3$

○事業工期

平成16年度

○事業費

850億円

木津川上流域における代表的な洪水被害

洪水発生年月 (原因)	実績流量 (m^3/s)	被害状況 (被害地域、浸水面積、浸水戸数等)
S28. 9. 24 (台風13号)	加茂 5,800 枚方 7,800	上野地区で浸水面積540ha、浸水戸数200戸
S34. 9. 27 (伊勢湾台風)	加茂 6,200 枚方 7,200	上野地区で浸水面積535ha、浸水戸数195戸
S36. 10. 28 (前線豪雨)	加茂 5,381 枚方 7,330	上野地区で浸水面積510ha、浸水戸数140戸
S40. 9. 17 (台風24号)	加茂 5,172 枚方 6,868	上野地区で浸水面積505ha、浸水戸数 35戸
S57. 8. 2 (台風10号)	加茂 3,989 枚方 6,271	上野・阿山地区で床上浸水13戸、 床下浸水97戸、水田冠水63.5ha。 淀川本川の各所で漏水、法面洗掘が発生。

鍵屋の辻(上野市)での浸水



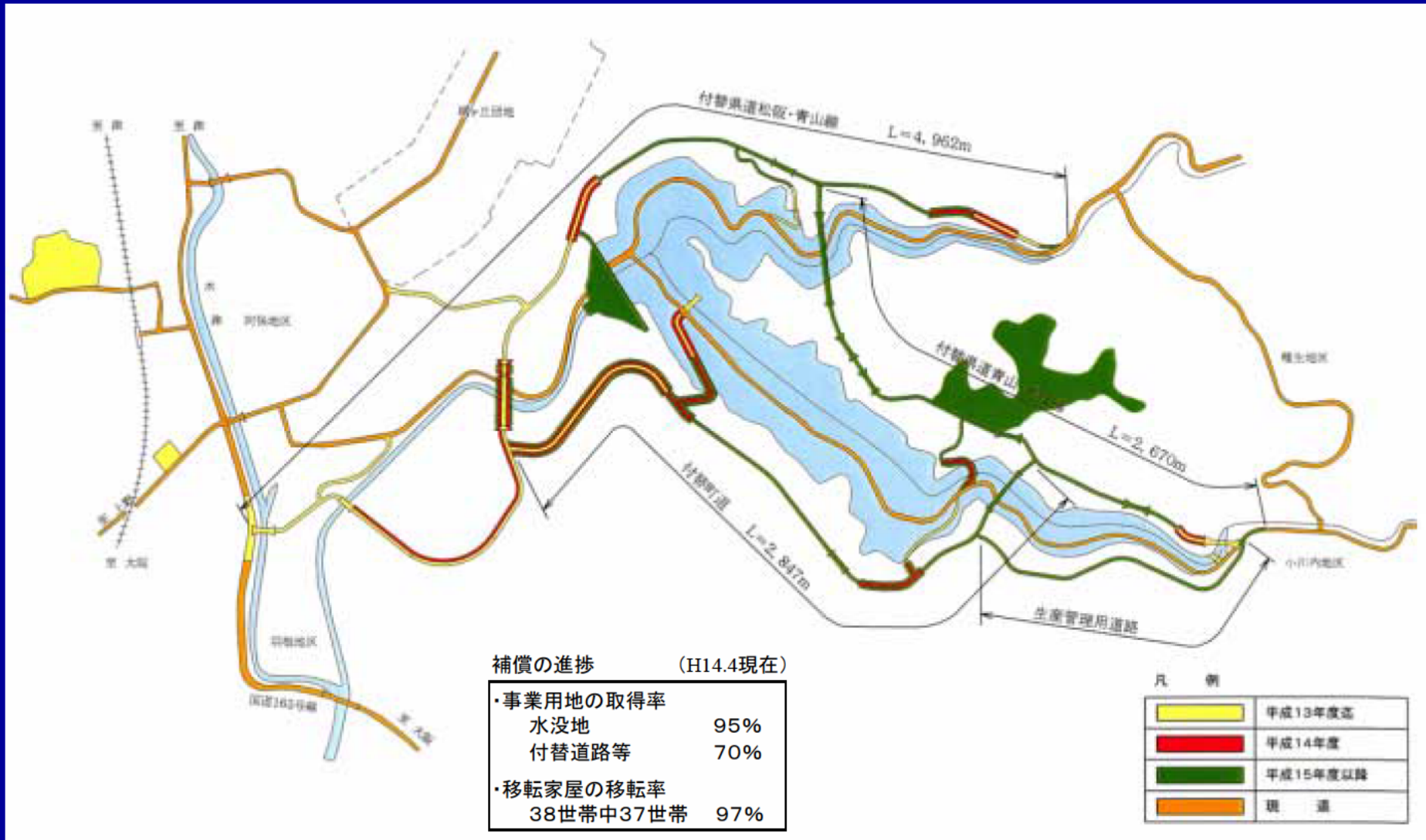
淀川流域における最近の渇水被害

発生期間	被害市町村	取水制限等の状況
H2.8.7 ~ H2.9.16	奈良県:9市7町1村	取水制限:上水最大30% (41日間)
H6.8.22 ~ H6.10.4 <small>(9月16日15時~ 19日15時の間 一時解除)</small>	京都府:3市1町 大阪府:32市7町1村 兵庫県:5市	取水制限:上水最大20%、工水最大20% (42日間) ・時間断水等の大きな被害はなかったもの、一部市町村では減圧給水、公立学校のプール使用中止等が実施された。 * 琵琶湖、木津川、宇陀川、猪名川流域でも取水制限実施。
H7.8.26 ~ H7.9.18	奈良県 三重県	取水制限:上水最大30%、農水最大20%(但し、自主節水として35%まで強化) (24日間) * 猪名川流域でも取水制限を実施。
H8.6.10 ~ H8.6.21	奈良県 三重県	取水制限:上水最大40%、農水最大35%(12日間)
H12.8.21 ~ H12.9.12	奈良県 三重県	取水制限:上水最大40%、農水最大35% (23日間) * 琵琶湖、桂川、猪名川流域でも取水制限を実施。
H13.8.10 ~ H13.8.21	奈良県 三重県	取水制限:上水最大53%、農水最大30% (12日間)

事業の経緯

年 月	経 緯	年 月	経 緯
S42年 4月	予備調査を開始(建設省)	H 8年12月 2日	一般補償基準の妥結 (ダムサイトより上流)
S56年 4月	実施計画調査を開始(建設省)	H 9年 2月27日	「水源地域対策特別措置法」 に基づく水源地域指定
S57年 8月 3日	淀川水系水資源基本計画(全部変更) に川上ダムが追加	H 9年 3月31日	「水源地域対策特別措置法」 に基づく水源地域整備計画決定
S57年 8月10日	水資源開発公団 川上ダム調査所発足(事業継承)	H 9年12月 9日	一般補償基準の妥結 (ダムサイトより下流)
H 4年 1月 ~ H 4年 6月	三重県要綱による環境影響評価の 実施	H10年 3月	付替県道工事に着手
H 4年 9月16日	事業実施方針の指示	H11年 6月28日	事業実施方針(変更)の指示
H 4年10月 1日	川上ダム建設所発足	H11年 7月21日	近畿地建事業評価監視委員会より 「事業を継続する」と答申
H 5年 1月22日	「水源地域対策特別措置法」 に基づくダムに指定	H11年10月26日	事業実施方針(変更)の認可
H 5年 1月26日	事業実施計画認可		

平成14年度川上ダム実施計画概要図





川上川



まえふかせ
前深瀬川



ダム建設予定地

まえふかせ
前深瀬川



ダムサイトの現況



ダム完成予想図

現地調査実施状況

年 度		62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
環境基礎調査	雨量、流量	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	陸域：植生ベースマップの調査													○	○		
	河床域：河川形態、河床材料の調査											○	○	○	○		
水質調査		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
動植物調査	陸上植物	○	○						○						○	○	
	大型水生植物	○							○						○	○	
	付着藻類	○	○					○	○								
	哺乳類	○	○					○	○							○	
	鳥類		○	○					○	○							○
		希少猛禽類										○	○	○	○	○	○
	両生類		○	○					○	○						○	
		オオサンショウウオ										○	○	○	○	○	○
	爬虫類	○	○					○	○								
	魚類	○	○					○	○			○	○	○	○	○	
陸上昆虫類	○	○						○							○		
底生動物(水生昆虫類等)	○	○					○	○			○	○	○	○	○		

● S58年度既存

● 三重県環境影響評価の実施に関する指導要領に基づく環境影響評価の実施

● 川上ダムオオサンショウウオ調査・保全検討委員会の設立

● 環境巡視(工事着手区域における事前踏査)を開始

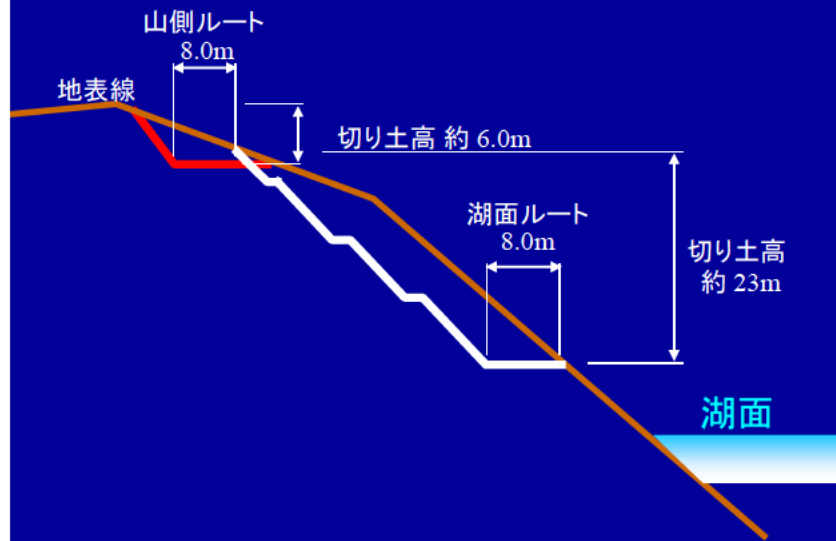
● 川上ダム自然環境保全委員会の設立

● 川上ダム希少猛禽類保全検討会の設立

● 環境管理協議会の設置

その他

土地改変面積を低減させた 付替道路計画



付け替え道路 湖面ルートと山側ルートの比較

発生木材のリサイクル



抜根のチップ化



堆肥化、法面の緑化基材として利用

自然環境に配慮した道路 (エコロード)の建設



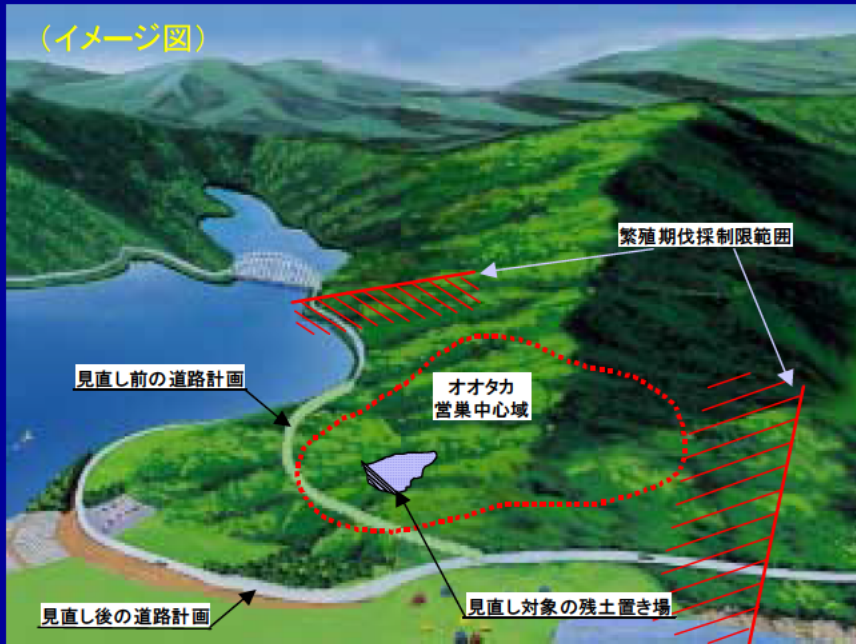
環境側溝
転落した小動物が這い出せる構造



道路横断施設
ロードキルの減少が期待される。



希少猛禽類(オオタカ)に配慮した
立木の伐採制限・道路線形の変更



国の特別天然記念物オオサンショウウオの保全対策

湛水予定地内に生息する個体を上流域に移転

